

## 第3回半田市図書館運営基本計画策定委員会議事録

開催日時	令和7年12月5日(金)	14時00分～15時30分
開催場所	半田市立図書館 第1会議室	
会議次第	1. 開会 2. 議題 図書館運営基本計画案について 3. その他 【配布資料】 ・資料1 半田市立図書館運営基本計画(案) ・資料2 半田市立図書館運営基本計画(案)概要版 ・資料3 半田市立図書館運営基本計画 策定経過	
出席委員 (欠席委員)	出席委員 会長 伊藤真理、副会長 大矢里実 委員 北中美郷、笠井香里、佐藤幸恵、齊藤裕美子、前田早苗 松石陽介、伊藤里香、市野喜啓、青木美希 ※敬称省略、名簿順	
事務局	教育部長 森田知幸、図書館長 藤井寿芳、副主幹 竹内由香、 主査 岩本紀子、主事 清水太士、主事 太田絢香	
	議事概要	
1. 開会	(教育部長) 前回は、運営基本計画の素案に対して、みなさまから様々なご意見をいただいた。また、委員会後においても重ねてご意見をいただき、素案から計画案を作成することができた。本日は、みなさまと一緒に作り上げてきた計画案を確認して、最終案としていきたい。	
2. 議事	図書館運営基本計画案について (会長) ・それではご指名いただいたので議事を進めていく。 (館長) ・前回の会議から本日に至るまで、ご多用の中、書面でのやり取りについて感謝している。本日は、計画案をこの場で確認をしながら最終的な計画案として決定していきたい。 ・今後は、この計画案を基にパブリックコメント手続きに入る。パブリックコメントは、広く市民から意見を募り、変更すべきところがあれば計画案を修正していくという流れになる。12月下旬から1月末にかけて実施される。 (事務局) ・図書館運営基本計画案について、事務局より説明 (会長)	

・ただいまの説明を基にご意見をいただきたいが、まずは当日資料から進めていきたい。これは、私が計画案を読んで、もう少し工夫してほしいところを上げたものになる。意図としては、この計画書を市民が読んだ際に、わかりやすい表現にしたり、同じ意味の言葉を統一したりと事務局に変更をお願いしたものである。当日資料となったのは、事務局の計画案のとりまとめ作業と前後してしまったために、こういった形となった。まずは事務局より当日資料の説明をお願いしたい。

(事務局)

・当日資料について、事務局より説明

(会長)

・ただいまのご説明も含んで、ご意見・ご質問をいただきたい。

(委員)

・生涯学習課でも生涯学習推進計画の中間見直しがあったが、SDGsの位置づけの表現方法など、会長の指摘事項を事前に聞いて計画案に反映できるとよかったと思った。

(委員)

・SDGsの17の目標は、基本方針(4)人がつながり共に創る図書館、(5)学び成長し続ける図書館とどのようにつながるのか。17番の目標は、発展途上国と先進国がどのようにパートナーシップを広げていくかの内容だったと思う。

(事務局)

・SDGsとしての17番の目標は、北中委員のご指摘のとおりだが、各市町で企業や地域と結びつく事例をSDGsの取組としてあげているところもあり、今回は同様に意味を広くとらえ基本方針と結びつけた。

(会長)

・SDGsは、世界基準で設定しているので、国によって事業が違うのは当然で、自分の国に適用していくことで考えていける。

(委員)

・計画案35ページ、41ページにあるイラストはページの関係で挟んだものか。

(事務局)

・アンケート調査のクロス集計が見開きで見た方がわかりやすい部分があり、関連するイラストでページ調整した。

(委員)

・写真などを載せているページもあるが、いい写真がなかったのか。

(事務局)

・写真だとじっくり見過ぎることもあり、読んでいて気をとられないよう、写真ではなくイラストを採用した。

(委員)

・文末の表現について、「提供します」「図ります」「整理します」「支援します」などあるが、「検討します」という表現がどのような意味なのか。「検討します」は検討して終わりになってしまうのか、例えば、58ページのブックスタートの表現などは先が見えない印象を与えてしまうのではないか。

(委員)

・おそらく、58ページのブックスタートの部分は、図書館だけでは「推進します」と言えないためではないか。

(館長)

・文末の表現については、今以上に予算が必要なものは、断定的な表現をしないようにしている。計画案で固有名詞としてあげているもの、例えば、ブックスタート以外でも移動図書館や地域開放型学校図書館など、今からチャレンジしていこうというものである。

(委員)

・ブックスタートについて、現行の赤ちゃん絵本の出会い事業が最終形態でなく、何とか盛り込んでほしいと提案した。よくぞブックスタートを載せてくれたと思っている。

(館長)

・運営基本計画に盛り込んだ内容は、みなさまと一緒にやり方も含め進めていく。こういった計画が今まではなかったので、図書館の方針が示しできていない状況だった。「検討する」という表現のものであっても、まさに検討しながら進めていきたいと考えている。

(委員)

・この計画の進捗管理を年2回開催の図書館協議会で進めていくとなっているが、何年も前に委員を務めていたが、図書館からの報告事項が多く、協議の場とはなっておらず、図書館運営に関して、提案を受け意見交換する場とはなっていなかった。この計画の進捗管理をするには、図書館協議会の運営の在り方を整理した方がよいと思う。

(会長)

・図書館協議会の在り方は、計画案からそれる内容のため、事務局へ宿題として渡しておく。

・「検討する」という言葉については、改めて見るとポジティブな印象がない。「検討する」という言葉の裏に予算的な事情もあるので、事務局でもう少し整理していただくとよい。

・52ページの図のレファレンスという言葉置き換える。

(委員)

・地域開放型学校図書館は、校長会でも一度も話が出ていない内容である。計画(案)を広く市民が見たときに、学校図書館について

聞かれるのは学校であり、教育委員会として考え方を校長会で説明してほしい。

(教育部長)

・本市において、この計画案に初めて地域開放型学校図書館という言葉を使った。地域開放型学校図書館は、乙川東小学校の建替え工事の中で検討している。まだ、運用や施設など具体的なことは決まっていないが、図書館運営基本計画は10年間の計画なので、チャレンジしていきたいと考えているので、次回の校長会で説明させていただく。

(会長)

・校長会は、パブリックコメントの前か。関係者のみなさんには、広く市民にお知らせする前にお伝えした方がいい。計画案も地域開放型学校図書館の表記に(仮)をつけてはどうか。

(事務局)

・地域開放型学校図書館の表記で気になるところは、52ページの図のところか。

(委員)

・図の表記が電子図書館と並んでいて、電子図書館は始まっているので、地域開放型学校図書館もあるものというイメージを持たれかねない。

(館長)

・52ページの基本理念の図の地域開放型学校図書館という表記は断定されやすい表現のため削除し、60ページの表現は「検討をすすめる」という内容のため、このままとしたい。

・本市総合計画の中間見直において、チャレンジ項目の見直しも行った。そこに、地域開放型学校図書館について取り組むチャレンジの表記される予定でいる。

(会長)

・一度、整理すると、地域開放型学校図書館の表記は、52ページの図からは削除し、60ページの文章はそのままとする。

(委員)

・52ページ基本理念の文章中、「心豊かな暮らしとまちづくり」のについて、「まちづくり」という表現がハード面のイメージがあるので、図書館を通じての「まちづくり」という意味となるよう、「より良い」「より住みやすい」という言葉をいれてはどうか。

(館長)

・事務局で預かりさせていただく。ここに込めた思いとしては、「まちづくり」という表現だが、「人づくり」のことを指している。そういったイメージを持ってもらえるような表現とする。

※追記：以下のとおり変更

	<p>(前略)</p> <p>本計画では、これまでの課題を踏まえ、誰もが利用しやすく、また利用したくなる図書館を市民と共に創り上げることを目指します。本と人、人と人がつながることで、新たな学びや発想、交流や活動が生まれ、市民の心豊かな暮らしに貢献でき、よりよいまちづくりにつなげる場としていきます。</p> <p>そこで、半田市立図書館の基本理念を次のとおり掲げ、市民から「あって良かった」と思われる図書館を実現するために5つの基本方針を定めます。</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは採決に移る。本日の修正内容も含め、本計画案を最終的な計画案とすることに意義はあるか。</li> </ul> <p style="text-align: center;">～異議なし～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員異議なしということで本計画案を最終的な計画案とする。</li> <li>・本日の宿題を含め、パブリックコメント前に、改めて委員のみなさまへ計画案の提示はあるか。</li> </ul> <p>(館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画案を修正したものをパブリックコメント前に、事前にお示しさせていただく。</li> </ul> <p>(伊藤会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以上で、本日の議事は終了しました。進行を事務局へお返すする。</li> </ul> <p>(館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日も忌憚なきご意見をいただき、最終的な計画案をご承認いただき、ありがとうございました。</li> <li>・パブリックコメントが12月26日(金)から2月1日(日)までホームページに加え、市内公共施設に紙の計画書で置かれ始まっていく。図書館の計画だけでなく、全部で13の計画書がある。図書館内には、特設コーナーを作り、関連本なども紹介しながら広く意見をいただけるような環境づくりに努めていく。</li> <li>・進捗管理については、図書館協議会の在り方を来年度以降、考えていく予定である。図書館協議会は、図書館長の諮問機関的な意味があるが、事業報告に留まるなど、形骸化している部分もあるので、特に力を入れてやる事業など提言してもらえそうな位置づけとしたい。併せて、メンバーについても再検討していきたい。</li> <li>・本委員会は、少ない回数の中、会議内、会議間においてお時間をたくさんいただき、改めてお礼を申し上げる。</li> </ul>
3. その他	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の第4回図書館運営基本計画策定委員会は、令和8年3月6日</li> </ul>

	<p>(金) 午後2時から本図書館第1会議室で開催する。</p> <p>(館長)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第4回委員会は、パブリックコメントで出てきた意見に対して、計画書に反映するかどうか、反映するならどのように反映するかを協議いただく。事務局としていったん整理したものを確認いただく。</li></ul> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・最後に学校の図書パートの取り組み事例を紹介したい。10月26日(日)朝日新聞の記事「校内移動図書館 こどもらを笑顔に 学校司書」を説明。</li></ul> <p>(終了)</p>
--	--